



江刺金札米 特別栽培米栽培暦

〈減農薬・減化学肥料〉

令和3年産

目 標 1等米比率100%、整粒歩合80%以上、タンパク質含有率6.0%以下（水分15%換算）

種子及び対象品種	生育目標指標（目標収量540kg/10a）						江刺金札米の土づくりについて																	
	栽植密度 (坪/株)	中干し前 m差数 (本)	最高分げつ m差数 (本)	m穂数 (本)	1穂粒数 (粒)	登熟歩合	土づくりと基肥が 同時施用できる省力的な 土づくり		稲わら + 金札有機入り春専用レギュラー 金札有機入り春専用一発		施用量 80~100kg/10a 施用量 100~120kg/10a													
1. 種子 全量種子更新 2. 品種 ひとめぼれ	1株あたり						稲わら鋤き込みと あわせて基本的な 土づくり（秋施用を推奨）	稲わら + 金札春一番（春施用）・秋一番（秋施用） 金札フジクオー（秋施用）		施用量 50kg/10a 施用量 45kg/10a														
	70	22	28	23	60	85%		堆肥施用とあわせて 土づくり		堆肥 + 金札エネルギー 施用量 40kg/10a														
	60	25	33	26																				
	55	28	36	29																				
50	30	40	32																					
作業内容等	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
生育ステージ	播種・育苗			田植え・活着期			有効分げつ期			無効分げつ期			幼穂形成期 減数分裂期			出穂期			登熟期			成熟期		
水管理 圃場管理	畦畔の整備・補修（環境保全）			水深6~10cm (低温から稲を守る) 3cm前後(生育促進)			中干し 溝切り			間断灌水 (徐々に深水) 15cm前後 (低温から幼穂を守る)			間断灌水(徐々に落水期間を長く)											
作業内容	播種 耕起			代かき 田植え 取置き苗除去			中干し・溝切り			畦畔草刈り			落水 収穫 (出穂後30~40日)			秋耕								
	堆肥・ 土づくり肥料散布 基肥散布			高温障害回避のため、 早期移植は控えましょう！ 箱施用剤散布 除草剤散布			必要に応じて 除草剤散布			追肥 葉いもち・穂いもち防除			カメムシ防除			品質確保のため、 適期に収穫しましょう！ 土づくり肥料散布								
農薬防除体系	テクリードC フロアブル			[箱施用剤] ルーチン粒剤 [初中期一発除草剤] 天空			[中期除草剤] ①バサグラン ②トドメMF ③ロイヤント乳剤 ※必要に応じて1 圃場につきどち らか1剤の使用			[いもち病予防剤] コラトップ			[殺虫剤] スタークル ※1回散布											

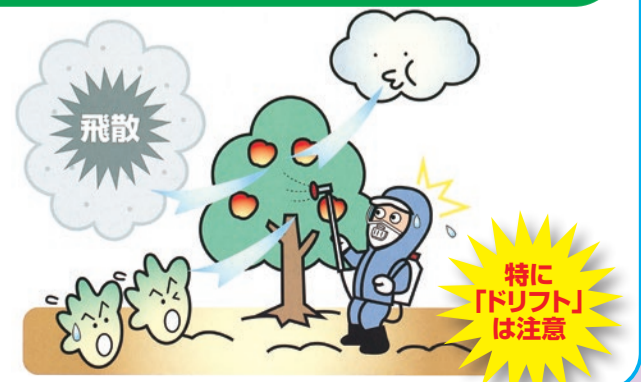
肥 培 管 理	雑 草 防 除	病 害 虫 防 除	収 穫 ・ 乾 燥																																																		
<h3>1. 施 肥</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>施用量 (窒素成分量) kg/10a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新・金札ひとめぼれ</td> <td>30 (3.0)</td> </tr> <tr> <td>金札有機入り ひとめぼれ</td> <td>40~60 (4.0~6.0※)</td> </tr> <tr> <td>金札有機入り 春専用レギュラー</td> <td>80~100 (4.8~6.0※)</td> </tr> <tr> <td>コーバペースト</td> <td>25 (3.0)</td> </tr> <tr> <td>追肥 金札追肥</td> <td>栄養診断による追肥 9~10 (0.9~1.0)</td> </tr> <tr> <td>基肥一発型 金札有機入り ひとめぼれ一発</td> <td>50~70 (5.0~7.0※)</td> </tr> <tr> <td>金札有機入り 春専用ひとめぼれ一発</td> <td>100~120 (6.0~7.2※)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※窒素成分のうち50%の有機態窒素を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堆肥を1.5t/10a以上投入する場合、堆肥1t当たり基肥窒素を1kg程度減肥すること。 ●食味の低下を防ぐため、減数分裂期後の追肥はしない。 	肥料名	施用量 (窒素成分量) kg/10a	新・金札ひとめぼれ	30 (3.0)	金札有機入り ひとめぼれ	40~60 (4.0~6.0※)	金札有機入り 春専用レギュラー	80~100 (4.8~6.0※)	コーバペースト	25 (3.0)	追肥 金札追肥	栄養診断による追肥 9~10 (0.9~1.0)	基肥一発型 金札有機入り ひとめぼれ一発	50~70 (5.0~7.0※)	金札有機入り 春専用ひとめぼれ一発	100~120 (6.0~7.2※)	<h3>1. 耕種的防除</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○畦畔整備・補修による農薬等の流出防止。 ○代かき～田植えまでの日数は4日以内とする。 <h3>2. 薬剤防除</h3> <p>各剤とも使用上の注意を守り、適期散布しましょう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>散布時期</th> <th>散布方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初中期一発剤</td> <td>天空 1キロ粒剤 天空 フロアブル 天空 ジャンボ</td> <td>移植時～ノビE3葉期 (移植後30日まで) 移植後1日～ノビE3葉期 (移植後30日まで)</td> <td>温水散布 ※5~6cm の水深とし 1週間は止 水管理</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1(右記3種類の中から1剤を選択して散布)</td> <td>バサグラン 粒剤</td> <td>移植後15~55日 (収穫60日前まで)</td> <td>ホタルイ クログワイ オモダカ 等</td> <td>落水散布 ※散布後最 低3日間は 止水管理</td> </tr> <tr> <td>バサグラン 液剤</td> <td>移植後15~55日 (収穫50日前まで)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トドメMF 1キロ粒剤</td> <td>移植後14日～ノビE5 葉期(収穫50日前まで)</td> <td>ノビE</td> <td>温水散布 ※3~5cm</td> </tr> <tr> <td>トドメMF 液剤</td> <td>移植後14日～ノビE7 葉期(収穫50日前まで)</td> <td></td> <td>温水または 落水散布</td> </tr> <tr> <td>ロイヤント 乳剤</td> <td>移植後20日～ノビE5 葉期(収穫45日前まで)</td> <td>イボクサ、 クサネム ノビE</td> <td>落水散布</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	散布時期	散布方法	初中期一発剤	天空 1キロ粒剤 天空 フロアブル 天空 ジャンボ	移植時～ノビE3葉期 (移植後30日まで) 移植後1日～ノビE3葉期 (移植後30日まで)	温水散布 ※5~6cm の水深とし 1週間は止 水管理	1(右記3種類の中から1剤を選択して散布)	バサグラン 粒剤	移植後15~55日 (収穫60日前まで)	ホタルイ クログワイ オモダカ 等	落水散布 ※散布後最 低3日間は 止水管理	バサグラン 液剤	移植後15~55日 (収穫50日前まで)			トドメMF 1キロ粒剤	移植後14日～ノビE5 葉期(収穫50日前まで)	ノビE	温水散布 ※3~5cm	トドメMF 液剤	移植後14日～ノビE7 葉期(収穫50日前まで)		温水または 落水散布	ロイヤント 乳剤	移植後20日～ノビE5 葉期(収穫45日前まで)	イボクサ、 クサネム ノビE	落水散布	<h3>1. 耕種的防除</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○カビ・細菌病 出芽温度を28~30℃を目安にする。 ○いもち病：取置き苗除去の徹底。 ○カメムシ対策 ①越冬世代幼虫密度低減のため、6月上旬に畦畔草刈りをする。 ②水田雑草のノビE・シズイ・ホタルイ類の防除を徹底する。 ③水稻の出穂2週間前までに畦畔雑草及び牧草の刈り取りを行う。 <h3>2. 薬剤防除</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○種子伝染性病害防除 …テクリードCフロアブル（種子消毒済） 浸種は水温12~15℃、期間は7~10日、催芽は30℃で24時間を目安に実施。 育苗期間中は10℃以下にならないよう管理。 ○葉いもち防除 …ルーチン粒剤 移植当日または播種時処理 (散布後十分に散水しましょう。) ○穂いもち防除 …コラトップ <table border="1"> <thead> <tr> <th>1キロ粒剤</th> <th>散布時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豆つぶ</td> <td>出穂30~5日前、温水散布</td> </tr> <tr> <td>ジャンボ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○カメムシ防除…スタークル（1回防除） 発生源である本田内の雑草をなくし、出穂10日前の水田畦畔及び周辺の草刈りとあわせての薬剤防除が効果的です。 散布時期：穂揃期7日後（粒剤以外） 	1キロ粒剤	散布時期	豆つぶ	出穂30~5日前、温水散布	ジャンボ		<h3>1. 適期刈り取りの励行</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○バインダー刈り 適期は80~90%が黄化、または穂軸の1/3が黄化。 ○コンバイン刈り 籾の85%以上が黄化。 ★高水分状態（降雨直後、降水中）での収穫は極力避ける。 ★刈り取り晩限はバインダー、コンバインともに、出穂後積算平均気温で1,050℃を目安にする。 <h3>2. 乾 燥</h3> <ul style="list-style-type: none"> ○自然乾燥 収穫後直ちに棒掛けまたは、はせ掛けし品質保持のため、2週間から20日間を目安に乾燥する。乾燥不十分の時は機械乾燥で仕上げる。 ○機械乾燥 収穫後は、直ちに乾燥施設に搬入する。二段乾燥を行い、乾燥中の籾水分の均一化、過乾燥の防止、胴割れ粒の混入防止に努める。 <h3>3. 調 製</h3> <p>篩目は1.9mmを使用。整粒歩合80%以上を目標。</p>
肥料名	施用量 (窒素成分量) kg/10a																																																				
新・金札ひとめぼれ	30 (3.0)																																																				
金札有機入り ひとめぼれ	40~60 (4.0~6.0※)																																																				
金札有機入り 春専用レギュラー	80~100 (4.8~6.0※)																																																				
コーバペースト	25 (3.0)																																																				
追肥 金札追肥	栄養診断による追肥 9~10 (0.9~1.0)																																																				
基肥一発型 金札有機入り ひとめぼれ一発	50~70 (5.0~7.0※)																																																				
金札有機入り 春専用ひとめぼれ一発	100~120 (6.0~7.2※)																																																				
薬剤名	散布時期	散布方法																																																			
初中期一発剤	天空 1キロ粒剤 天空 フロアブル 天空 ジャンボ	移植時～ノビE3葉期 (移植後30日まで) 移植後1日～ノビE3葉期 (移植後30日まで)	温水散布 ※5~6cm の水深とし 1週間は止 水管理																																																		
1(右記3種類の中から1剤を選択して散布)	バサグラン 粒剤	移植後15~55日 (収穫60日前まで)	ホタルイ クログワイ オモダカ 等	落水散布 ※散布後最 低3日間は 止水管理																																																	
	バサグラン 液剤	移植後15~55日 (収穫50日前まで)																																																			
	トドメMF 1キロ粒剤	移植後14日～ノビE5 葉期(収穫50日前まで)	ノビE	温水散布 ※3~5cm																																																	
	トドメMF 液剤	移植後14日～ノビE7 葉期(収穫50日前まで)		温水または 落水散布																																																	
ロイヤント 乳剤	移植後20日～ノビE5 葉期(収穫45日前まで)	イボクサ、 クサネム ノビE	落水散布																																																		
1キロ粒剤	散布時期																																																				
豆つぶ	出穂30~5日前、温水散布																																																				
ジャンボ																																																					

農薬を散布するときは、これまで以上に注意を!!

農薬の使用法を守り、散布履歴の記帳を徹底する



農薬の使用前には、使ってよい作物や使用量、濃度、使用時期、総使用回数などを農薬ラベルで確認し、これらを守ることが基本です。
 散布後には、使用した農薬名や散布した量などを記帳しておきます。記帳することで成分ごとの使用回数や安全日数の確認が容易になり、また、使用基準を守っているかの証明にもなります。





江刺金札米 特別栽培米栽培暦

〈減農薬・減化学肥料〉

令和3年産

目 標		1等米比率100%、整粒歩合80%以上、タンパク質含有率6.0%以下（水分15%換算）																							
種子及び対象品種		生育目標指標（目標収量540kg/10a）						江刺金札米の土づくりについて																	
1. 種 子 全量種子更新	2. 品 種 ひとめぼれ	栽培 密度 (坪/株)	中干し前 m ² 差数 (本)	最高分げつ m ² 差数 (本)	m ² 穂数 (本)	1穂粒数 (粒)	登熟歩合	土づくりと基肥が 同時施用できる省力的な 土づくり	稲わら + 金札有機入り春専用レギュラー 施用量 80~100kg/10a 金札有機入り春専用一発 施用量 100~120kg/10a																
			1株あたり						60	85%	稲わら + 金札春一番（春施用）・秋一番（秋施用） 施用量 50kg/10a 金札フジクオー（秋施用） 施用量 45kg/10a														
			70	22	28	23					堆肥施用とあわせた 土づくり						堆 肥 + 金札エネルギー 施用量 40kg/10a								
			60	25	33	26																			
			55	28	36	29																			
50	30	40	32																						
作業内容等		4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月					
生育ステージ		播種・育苗			田植え・活着期			有効分げつ期			無効分げつ期			幼穂形成期 減数分裂期			出穂期			登熟期			成熟期		
水管理 圃場管理		畦畔の整備・補修（環境保全）			水深6~10cm (低温から稲を守る)			3cm前後（生育促進）			中干し 溝切り			間断灌水 (徐々に深水)			15cm前後 (低温から幼穂を守る)			間断灌水（徐々に落水期間を長く）					
作業内容		播種 耕起 堆肥・ 土づくり肥料散布 基肥散布			代かき 田植え 取置き苗除去 高温障害回避のため、 早期移植は控えましょう！ 箱施用剤散布 除草剤散布			中干し・溝切り 必要に応じて 除草剤散布			畦畔草刈り 追肥 葉いもち・穂いもち防除			カメムシ防除			落水 収穫 (出穂後30~40日) 品質確保のため、 適期に収穫しましょう！ 土づくり肥料散布			秋 耕					
農薬防除体系		テクリードC フロアブル			[箱施用剤] ルーチン粒剤 [初期除草剤] エリジャンまたはソルネット [中中期一発除草剤] カウシルコンプリート			[中期除草剤] ①バサグラン ②トドメMF ③ロイヤント乳剤 ※必要に応じて1 圃場につきどち らか1剤の使用			[いもち病予防剤] コラトップ			[殺虫剤] スタークル ※1回散布											
肥 培 管 理		雑 草 防 除						病 害 虫 防 除						収 穫 ・ 乾 燥											
1. 施 肥		1. 耕種的防除						1. 耕種的防除						1. 適期刈り取りの励行											
肥料名		○畦畔整備・補修による農薬等の流出防止。 ○代かき～田植えまでの日数は4日以内とする。						○カビ・細菌病 出芽温度を28～30℃を目安にする。 ○いもち病：取置き苗除去の徹底。 ○カメムシ対策 ①越冬世代幼虫密度低減のため、6月上旬に 畦畔草刈りをする。 ②水田雑草のノビエ・シズイ・ホタルイ類の 防除を徹底する。 ③水稻の出穂2週間前までに畦畔雑草及び牧 草の刈り取りを行う。						○バインダー刈り 適期は80～90%が黄化、または穂軸の 1/3が黄化。 ○コンバイン刈り 籾の85%以上が黄化。 ★高水分状態（降雨直後、降水中）での収穫は 極力避ける。 ★刈り取り晩限はバインダー、コンバインと ともに、出穂後積算平均気温で1,050℃を 目安にする。											
施用量 (窒素成分量) kg/10a		2. 薬剤防除						2. 薬剤防除						2. 乾 燥											
新・金札ひとめぼれ		各剤とも使用上の注意を守り、適期散布しましょう。						○種子伝染性病害防除 …テクリードCフロアブル（種子消毒済） 浸種は水温12～15℃、期間は7～10日、催 芽は30℃で24時間を目安に実施。 育苗期間中は10℃以下にならないよう管理。						○自然乾燥 収穫後直ちに棒掛けまたは、はせ掛けし品 質保持のため、2週間から20日間を目安 に乾燥する。乾燥不十分の時は機械乾燥で 仕上げる。											
金札有機入り ひとめぼれ		薬 剤 名						○葉いもち防除 ……………ルーチン粒剤 移植当日または播種時処理 (散布後十分に散水しましょう。)						○機械乾燥 収穫後は、直ちに乾燥施設に搬入する。二段 乾燥を行い、乾燥中の籾水分の均一化、過 乾燥の防止、胴割れ粒の混入防止に努める。											
40~60 (4.0~6.0※)		散 布 時 期						○穂いもち防除 ……………コラトップ						3. 調 製											
金札有機入り 春専用レギュラー		散 布 方 法						1キロ粒剤						篩目は1.9mmを使用。整粒歩合80%以上を 目標。											
80~100 (4.8~6.0※)		初 期 剤						豆つぶ																	
コーペースト		初 中 期 一 発 剤						ジャンボ																	
25 (3.0)		エリジャン乳剤																							
金札追肥		カウシルコンプリート																							
栄養診断による追肥 9~10 (0.9~1.0)		ソルネット																							
金札有機入り ひとめぼれ一発		カウシルコンプリート																							
50~70 (5.0~7.0※)		トドメMF																							
金札有機入り 春専用ひとめぼれ一発		ロイヤント乳剤																							
100~120 (6.0~7.2※)		イボクサ、 クサネム ノビエ																							
※窒素成分のうち50%の有機態窒素を含む。		1 (右記3種類の中から 1剤を選択して散布)																							
●堆肥を1.5t/10a以上投入する 場合、堆肥1t当たり基肥窒素を 1kg程度減肥すること。																									
●食味の低下を防ぐため、減数分裂 期後の追肥はしない。																									

農薬を散布するときは、これまで以上に注意を!!

農薬の使用法を守り、散布履歴の記帳を徹底する



農薬の使用前には、使ってよい作物や使用量、濃度、使用
 時期、総使用回数などを農薬ラベルで確認し、これらを守る
 ことが基本です。
 散布後には、使用した農薬名や散布した量などを記帳して
 おきます。記帳することで成分ごとの使用回数や安全日数の
 確認が容易になり、また、使用基準を守っているかの証明に
 もなります。

